

## 目標達成計画

作成日：平成 25 年 8 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	入居者様一人一人の力を活かした参加型の支援がまだまだ不足している。	一人一人の力・残存機能を活かし、家事など役割を持って頂き、自信とやりがいを感じて頂けるよう支援する。	一人一人の力や、出来る事・出来ない事を見極めながら、「してもらっている」～「している」と、感じて頂けるよう、自身の役割を持ち、張り合いになるように、家事やさまざまな行動を促し、生活観を感じられるような支援をしていく。	3ヶ月
2	6	玄関の自動扉は解放しているが、各ユニット扉に関しては、階段など危険がある為、解放できていない。	日中の職員の多い時間などを考慮しながら、ユニット扉の解放をしていく。	日中の職員数のいる時間帯、まず一階からユニット扉を施錠せず、様子を見て行く。2階に関しては、その後階段があることも考慮して、短時間から解放して、様子を見て行く。	3ヶ月
3					
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。